

パワハラ啓発DVD制作

同僚言動で2次被害も

パワーハラスメントの企業研修用啓発DVDを、職場の人権問題に取り組む「アトリエエム」（大阪府吹田市）が制作した。実際に基づいたドラマ仕立てで、同僚の言動が被害者をさらに傷つける二次被害にも言及している。

このDVD「パワー・ハたは……」は、再現ドラマとインタビュー。そのときあな パワハラ被害者のインタビュー



DVDを手に「管理職は相手を尊重し、働きやすい職場をつくる責任がある」と話す三木啓子さん。大阪中央区の時事通信社大阪支社

再現ドラマやインタビュー

ユーなどで構成している。二十分。パワハラは、職場の上下関係や権力を背景に、継続的に人格や尊厳などを侵害する行為のこと。

ドラマでは、新しい職場に赴任して仕事の指示を仰ぐ男性社員に、「自分で考える」ととなり、「ばかか」などと暴言を浴びせる上司が登場。男性が相談した先輩や同僚はトラブルにかかわりたくないと言ふばかり。インタビューを受けたある男性社員は「毎日命懸けというのか、そういう思いで仕事に行かざるを得ない」と証言する。

DVDでは、こうした上

司の行為はパワハラに当たっているアトリエエムの三木啓子代表は「派遣、契約人を傷つけると指摘。結果など非正社員が増え、即戦として、被害者は休職に追い込まれ、さらに職場の雰囲気が悪くなることで生産性も下がるほか、パワハラによる精神疾患が労災として認定され、会社の責任が問われる事態も起きていると解説する。 企業や自治体でパワハラやセクハラの研究の講師を 問い合わせは、アトリエエム（兼ファクス）06（6872）5995。